

## 富士見市環境基本計画市民策定委員会（第4回）議事録

【開催日時】 平成24年5月30日(水) 午前9時30分～10時55分

【開催場所】 市役所本庁舎2階市長公室

### 【出席者】

(委員)長谷川委員長、澤田副委員長、宮委員、横山委員、眞木委員、井上委員、  
古賀委員、柳田委員、齋木委員、関根委員、矢野委員  
(事務局)新井環境課長、大橋副課長、佐々木主査  
(株)環境総合研究所)吉田、寺山

【次第】 1. 開会  
2. 委員長あいさつ  
3. 報告  
4. 骨子(案)について  
5. その他  
6. 閉会

【配布資料】 事前資料 1. 環境基本計画の構成比較表  
事前資料 2. 施策体系比較一覧  
事前資料 3. 平成23年度アンケート票

## 【報告事項】

都合により、砂川委員(農業関係者)が参加できなくなったため、5月25日付で委員辞職の旨を事務局より報告。後任については、選任者を探している状況である。(事務局)

## 【議事要旨】

### 1. 骨子(案)について

事務局より、眞木委員より提出された資料を各委員に配布。

長谷川委員長より、眞木委員作成の資料は正式な委員会資料ではないので、参考資料として扱い、記録としない旨説明。

《眞木委員提示資料(質問項目)に対する回答》

Q : 現行計画と目次が異なっているのには理由があるのか？

A : 埼玉県的环境基本計画に準じて作成した。

Q : 現行計画の進捗状況と評価結果の提示はいつになるか？

A : 次回(6月20日(水))開催の委員会までに提示する予定である。

Q : 課題の検証はされているのか？

A : 毎年度発行している「富士見市の環境」に掲載している。

Q : アンケート調査内容は前計画と同じ内容か？

A : 前回計画策定時に行った調査と同様の設問内容とした。

### ◆第1章「本計画の基本的事項」について

委員： 「1.策定の背景と目的」にある「東北地方太平洋沖地震」は正式名称か。地震と原発事故は分けて表現した方がよいと思う。

委員長： 正式名称については事務局に確認していただく。

委員： 地震と原発事故に関する文章の修正を提案したい。

委員長： 審議内容を次回以降とする。

委員： 震災は大きい問題だが、市あるいは市民の立場から本計画を策定するにあたっては、必要以上に捉える必要はないと思う。

委員： 放射能は市の問題でもあるので、その認識と取り組みについて議論していくべきだと思う。

委員： 全国的な問題を中心的に捉えるよりも、市としての位置づけを考えて議論した方がよいと思う。

委員： 原発に関する問題は取り上げるべきだと思う。地球温暖化対策も市民の取り組みとして取り上げている。

事務局： 富士見市が実践できる取り組みとして方針を定めるものが環境基本計画である。放射能に関する取り組みは、「地域防災計画」の見直しを行っており、その中で取り組みを検討してい

る。各計画には役割があり、本計画に全てを盛り込むことは考えていない。

委員： 住みよいまちを目指したような、明るい未来を目指した文章としたほうがよいと思う。

委員： 現在の人口推移はどうなっているか。実情に適したものとした方がよい。

事務局： 第5次基本構想策定の際に人口推計を行っている。(平成21年104,932人、平成27年104,612人、平成32年103,696人(当時推計))

委員： 構成について現行計画の進捗・課題は計画の第1章に掲載した方がよいのではないか。

事務局： 委員会の中で出された意見を踏まえて検討していく。

◆第2章「計画の対象」について  
意見・質疑特になし。

◆第3章「富士見市の現況」について

委員： 10年前のアンケートとの比較評価はどうなっているか。

事務局： 全体として見ると、10年前と平成23年度アンケート調査には変化がほとんどなかったと把握している。

副委員長： 公害苦情対応は取り上げないのか。本市特有の公害相談はあるのか。

事務局： 「富士見市の環境」の中に掲載している。「(2)生活環境⑥環境に関する相談件数」に掲載することを考えている。

委員： 鳥獣に対する相談件数について平成19年度のみ急増しているので、その具体的内容を把握しているか。相談内容は地域特性などが捉えられるので、本計画に反映しやすいのではないか。

事務局： 相談内容等について確認する。

委員： 「富士見市の環境」の中に、ある程度の相談内容について掲載されているので、未掲載のものについても相談内容・解決方法を確認できないか。

事務局： 次回委員会までに確認する。

◆第4章「計画の目標」について

副委員長： 基本目標は現行計画とあまり変わっていない。改正するにあたり、目標を設定し直す考えがあるのか。

委員長： 意見を踏まえて目標を作成していく。

事務局： 第3回委員会(5月16日(水))で提示した「現行計画・新計画

体系比較」に基本目標(案)と基本方針を示した。

委員： 目標に優先順位はあるのか。

事務局： 優先順位はない。横並びの位置づけのイメージとして捉えていただきたい。

委員： 現行計画の方が分かりやすいため、目標・方針はそのまま残しても良いのではないか。

事務局： 分かりやすい表現に努める。

◆第5章「富士見市の現状と課題」について

委員： 放射能対策に関する市の考え方を掲載しても良いのではないか。「(3)地球環境(地球温暖化)に関すること」に放射能に関する事項を追記してほしい。

事務局： 平成23年11月に「富士見市における空間放射線量への対応方針」を策定しており、その中で放射能に関する取り組みを進めている。また、「公共施設における空間放射線量低減マニュアル」(平成23年12月)を策定しており、具体的な対策・取り組み内容を定めている。

委員： 市民への周知徹底はされているのか。

事務局： 広報及びHPに掲載している。今後も周知を働きかける。対策窓口は、環境課、教育委員会、水道課で対応している。また、別途、環境課が事務局である「放射線対策委員会」を設置し、対策を検討している。

委員： 保存樹林の経年変化はどうなっているか。

事務局： 保存樹林は 1,000m<sup>2</sup> 程度減少傾向にある。保存樹木の本数は横ばい傾向である。

◆第6章及び第7章については、次回委員会での審議とする。

◆第8章について

副委員長： 第8章の前に具体的な施策が入るのか。

委員長： 第8章の前段に施策内容がないと繋がらないので、その意見について議論する。

事務局： 前回委員会で提示した資料「現行計画・新計画体系比較」の基本方針の後に施策内容を盛り込む予定であり、次回委員会で素案として提示する予定である。

その他質疑事案が発生した場合には、次回以降の委員会で行う。

2. その他

次回委員会：平成24年6月20日(水)9時30分～開催場所:市長公室

次々回委員会：平成24年7月4日(水)9時30分～

以上